

三次元培養モデル検体の送付方法

病理検体取扱の注意とお願い

20230510

本資料は病理受託事業部へ材料を発送される際の注意事項を記載しています。
内容を参考いただきますようお願いいたします。

三次元培養モデル検体の送付方法

【検体の提供方法例】

- 1, ウエルアッセイプレートから培養した3次元培養組織があるカルチャーインサートを静かに取り出してください。
- 2, カルチャーインサートを乾燥させないように、固定液（10%中性緩衝ホルマリンまたは4% PFA）の入った輸送容器に入れ、カルチャーインサート内部および輸送容器一杯に固定液を満たし、輸送中に漏れないようにキャップおよび包装を行い、冷蔵で弊社にお送りください。

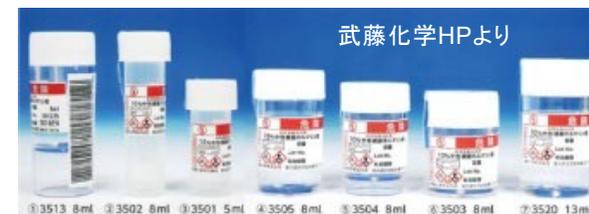
（容器内に空間があると、輸送による衝撃で培養組織がカルチャーインサートから外れる場合があります）

- 3, 固定開始から弊社まで24時間以内に到着するように準備および輸送指定をお願いします。固定時間が長くなると過固定となり、期待される結果が得られない場合があります。



容器について

- ・ マイクロチューブや遠沈管、試料用広口容器、ヒストパックの利用を指定する。以下参考例です。
 - 武藤化学: 空容器、各種ホルマリン充填済みで発売
 - ・ 5ml, 8ml, 25ml, 30ml, 35ml, 40ml, 50ml, 100ml, 150mlと多彩
 - https://www.mutokagaku.com/products_search/reagent/pathological_solvents/formalin_neutral
 - 市販遠沈管: 基本規格は同じです。15ml, 50ml容量
 - 組織の大きさよりひと回り以上余裕のある経口の大きさの容器を選ぶようにしてください。解剖直後の臓器は柔らかく、容器の口が小さくても中に押し込めることができちゃうので注意。
 - 固定検体に対して10倍以上の固定液が入る容器を選択してください。
 - 重要; 当社から容器・固定液を提供することは違法行為※になるので出来ません。(※: 利益供与、毒劇物取締法)
-
- ・ 破損や液漏れ防止のため、下記の容器は使用しないでください。
 - 必ず有機溶剤、危険物の輸送に耐える容器で発送してください。
 - 例: 入口が狭い容器(検体を取り出せなくなる)、不透明な容器(中身が見えない)、空瓶(特にガラスは破損しやすい)、弁当箱・タッパ容器・ペットボトル、チャック付きビニール袋(液漏れしやすい)



武藤化学HPより



遠沈管

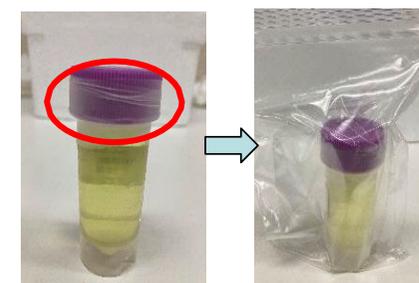


サンプルチューブ



固定液量について

- ・ 湿臓器受けでは、容器の口までフルに固定液等が入っていることを確認して発送ください。空間があると、乾燥、輸送時の振動による検体の破損等が発生します。
 - 専用容器以外のマイクロチューブや遠沈管、広口容器をご利用の場合は、必ずパラフィルムにより厳重に液漏れを防止していることを確認ください。
 - キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
 - ヒストパックの場合、製品能書の専用シーラーで圧着してください。
 - 万一の液漏れに備えて容器をビニール袋に入れて二重もしくは三重で包装して下さい。
- ・ 固定液の量
 - 固定する臓器(個体)の10倍量以上の量で固定してください。



キャップをしっかり閉め、パラフィルムを巻く

二重三重に袋で包装する

材料の梱包方法例



底にクッションを入れる



ビニール袋を2ないし3枚かぶせる



容器を立てて入れる



容器が倒れないように間にクッションを入れる。



袋口を縛る



隙間にクッションを入れる



3次元培養組織は固定時間が早いので保冷剤を入れて「天地無用」で発送ください。



【注意事項】

- ホルマリン等の固定液に検査用の材料が入った状態での輸送は問題ないとされています。
- ただし、輸送中に漏れが発生すると、輸送業者への影響が考えられることから固定液の漏れがないように厳重に梱包いただき、輸送業者に依頼していただくことが重要となります。

検体の識別作業のお願い

- 検体の提出に際して以下をお願いします。
 - 各検体に識別ID(検体名)を明記してください。識別IDは英数字20文字以内、日本語が1文字でも入る場合10文字以内としてください。これを超える文字数はお受けできません。
 - マジック等は有機溶剤で消えてしまう可能性があります。
 - 有機溶剤耐性の印字シール等を利用いただくことが望ましいです。ただし、凍結検体ではシールが脱落する場合があります。
 - 手書きの場合は「0(ゼロ)」と「O(オー)」、「1」と「l(エル)」、「9」と「6」の識別ができるようにしてください。
 - 「検体リスト」を準備ください。
 - 識別IDを同じ内容を記載した検体リスト(デジタルデータ:EXCEL等)を準備ください。
 - 弊社で準備しているフォーマットもありますので、ご要望ください。
 - デジタルデータには、連番、識別名を記入してください。
 - 検体名と検体リスト、検体数が一致していることを確認ください。
 - 受け入れ時に不一致例が確認された場合、着払いでご返送させていただくこともございます。

連番	検体名	カゼット及ヒス									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	1001	1	0	0	1						
2	1002	1	0	0	2						
3	1003	1	0	0	3						
4	1004	1	0	0	4						
5											

